

2023 年度
名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻
博士前期課程 建築学コース
入学試験問題

専門科目 I (計画系・設計製図)

【 計画系 】

一般選抜（普通入試）
社会人特別選抜

令和 4 (2022) 年 8 月 18 日 (木) 13:30~14:30

受験番号

注意事項

- 1) 本冊子は、専門科目 I (計画系・設計製図) のうち、計画系の問題である。問題はこの表紙および白紙 1 枚と、問題 5 枚の計 7 枚からなる。また、問題は計画 1 から計画 5 の 5 問ある。試験開始後、直ちに枚数を確認し、過不足がある場合は申し出ること。
- 2) 計画 1から計画 5の中から2 問を選択し解答すること。
- 3) 本冊子のホチキス止めを外さないこと。
- 4) 試験開始後、本冊子の表紙に受験番号を記入すること。試験終了後、本冊子も回収する。
- 5) 答案は日本語で解答すること。

計画 1

- (1) 「ローマ大賞 (Prix de Rome)」とは何か、120字程度で解説しなさい。
- (2) 「ローマ大賞」の受賞者を1人取り上げて、その人物の①氏名と②主要な建築作品または著作を1つ示しなさい。
- (3) 「ローマ大賞」が建築設計図に与えた影響について、150字程度で解説しなさい。

計画 2

次に示した①から⑥は、19世紀末から20世紀初頭にかけて日本国内に建てられた建物である。次の（1）から（3）に答えなさい。

- ① 日本銀行本店（1896年竣工）
- ② 日本生命九州支店（1909年竣工）
- ③ 丸ノ内ビルディング（1923年竣工）
- ④ 帝国ホテル（1923年竣工）
- ⑤ 日本興業銀行本店（1923年竣工）
- ⑥ 甲子園ホテル（1930年竣工）

- (1) アメリカの建築会社の日本法人が設計施工に関与した結果、大規模事務所建築の施工方法として、スチーム・ハンマーによる杭打ちなど多数の新たな施工技術が導入された建物を選んで、その番号を答えなさい。また、この建設工事で採られた契約形式を答え、その特徴を80～100字程度で説明しなさい。
- (2) 後世の建築史家が「辰野式」と呼ぶ外観を持った建物を選んで、その番号を答えなさい。また、その外観の特徴を80～100字程度で説明しなさい。
- (3) アメリカ人建築家の設計によって建てられた建物で、現在では、その一部が博物館明治村に再現されている建物を選んで、その番号を答えなさい。また、博物館明治村に再現されているこの建物の一部分について、その空間構成の特徴を80～100字程度で説明しなさい。

計画 3

- (1) 都市開発事業としてのアーバンデザインの役割とは何か、屋外空間と建築空間のデザイン上の開発手法の視点から 100 字程度で説明せよ。
- (2) 自治体が取り組んでいる眺望保全の事例を 1 つ挙げ、視点場と規制される対象物の特徴を、200 字程度で説明せよ。

計画 4

- (1) 若年世帯とは異なる高齢世帯に特有の住要求を 2 点あげて、それぞれ 50 字程度で説明しなさい。
- (2) 教科教室型の中学校建築について、特別教室型と比べて建築計画上、特徴的な点や留意すべき点を 3 点あげて、全体で 100 字程度で説明しなさい。
- (3) 現在の日本の公共建築全般の改築に際して、人口減少が進む社会状況に起因する建築計画上の与条件を 2 点、それを踏まえて検討すべき方策を 2 点あげて、全体で 120 字程度で説明しなさい。

計画 5

木造在来構法の着工から竣工までの流れについて、以下の用語を適切な順に全て用いて 200～300 字程度で説明せよ。なお、文中において以下の用語にはアンダーラインを記すこと。

(用語) 建前、地業、屋根葺き、床組、外部開口部、水盛り遣り方、内部仕上げ、基礎、上棟、建具